

20 見通しをもつことが難しいTさん

Tさんは学園祭のダンス係の責任者に立候補して、とても張り切っています。しかし、期日が迫ってきているのにまだ具体的な準備が進んでいません。クラスの友達が心配して声をかけますが、何から取り組んだら良いかわからないようです。どう配慮していけば良いのでしょうか。

どうしてそうなるの？(考えられること)

- ◎自分がやらなければならない事柄に対し、優先順位を付けて取り組むことが難しいため
- ◎やることの手順や、何をどのように取り組んだら良いかわからないため

1 取り組む内容を確認する <①-2-1>

○何をしたら良いか、そのために何を準備したら良いかを紙面に書き出してみる。

「ダンス」に決定！

- ・リーダー、副リーダーは？
- ・曲を決める (音源は？)
- ・振付を考える
- ・衣装について決める
(レンタル・各自が準備・作る)
- ・隊形について
- ・練習時間と練習場所の確保 など

ダンス係として、必要な事柄を紙面に書き出してみます。
何をやらなければならないかがひと目でわかるようにします。

2 今やるべきことを1つだけ提示して、できたら次の取組を伝える

<①-2-1>

○優先順位を考えながら今やるべきことを明確に提示し、取組が完了したらできたことを認め、次の内容を提示する。

衣装について決める

(10月5日から10月12日まで)

「レンタル」「各自が準備」「作る」
まずは、どれにするのかを相談して決める

まずは今やるべきことや期日を明確に提示します。
できたら次の内容を提示するようにします。

合理的配慮・具体的な支援(例)

3 カレンダーや予定表などを使い、スケジュールが視覚的にわかるようにする

〈①-2-1〉

- 行事までのスケジュールをカレンダーや予定表、手帳等で確認できるようにし、いつまでに何をしなければいけないのかを具体的に記入し、視覚的にわかるようにする。
- 予定と内容を把握した上で、取り組むべき優先順位を一緒に確認する。



このようなカレンダーは、1か月の予定とともに、1週間ごとの把握もしやすいです。いろいろな予定表の形式がありますので、自分が使いやすいものを選択できるようにします。

日曜	記事	16	17
1	木		水
2	金		木 休打ち合わせ①
3	土		金
4	日		土
5	月		日
		20	月
		21	火
		22	水 ミニテスト
		23	木
		24	金
		25	土 休打ち合わせ②
		26	日
		27	月 技能検定
		28	火
		29	水
		30	木
		31	金 館一中

1か月の予定が書き込める予定表を活用します。

具体的にいつ、何があるのかを把握することでおおまかな流れがわかり、見通しをもって取り組むことができました。

4 1つの内容についての手順表を作成する 〈①-1-1〉

- 取り組む内容についての手順表を一緒に作成する。具体的に何をやれば良いかがわかるようにする。
- 文字だけでわかりにくい場合は写真や絵、図等を入れる工夫をする。

隊形について

- ① Aの部分を考える
- ② Bの部分を考える
- ③ ソロパートを考える
- ④ ソロパートの時、周りの人の動きを考えると

教師の一方的な指示だけではなく、生徒自身が何をやれば良いかを把握し、納得して進めることが大切です。

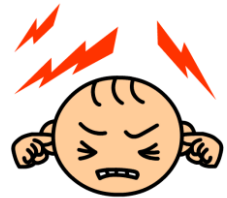
手順表があることで、やるのがわかり、安心して取り組むことができました。

21 感覚に過敏さがあるしさん

しさんは、聴覚過敏のため大きな音が苦手です。学校生活で生じる音に対して敏感に反応することがあります。そのために、授業に集中しにくくなったり、音に対するストレスから疲れがたまりやすくなったりします。どう配慮していけば良いでしょうか。

どうしてそうなるの？(考えられること)

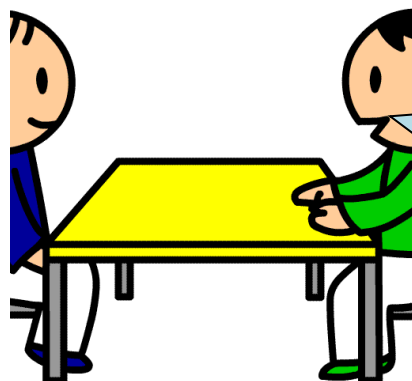
- ◎多くの人にとって気にならないような音が、耐えられないほど大きく感じてしまうため
- ◎予期しない音に対して、自分ではどうしようもなく反応してしまうため



合理的配慮・具体的な支援(例)

1 苦手な音に対する共通理解をする <①-2-3>

○気になる音については、人それぞれです。周りには気にしていなくても、本人にとっては苦痛に感じている音もあるかもしれません。生徒が困難さについて話しやすい関係をつくり、現在の状況について共通理解を図ります。



個別に話をする時間を設けることで、どのような音や環境が苦痛なのか自己理解できました。

確認した内容を他の教師にも周知することで、少しずつ授業に集中できるようになりました。

<苦手な音の例> ※苦手な音や程度は人によって異なります。

- ・ 体育祭のピストルの音
- ・ 大勢の人の会話
- ・ 授業のチャイム
- ・ 机や椅子を引きずる音
- 等

2 余計な音の出にくい環境づくりをする <③-1>

- 教室で使用している机と椅子の脚にテニスボールを被せることで消音効果につながります。テニスボールが使用できない大きなものの場合には、布やスポンジが有効な場合もあります。
- サイレントゾーンを設けるなどの状況づくりで、全員が余計な音を出さない意識をもつことができます。



突発的な音が出にくい環境を整えることが大切です。
机上からの落下物も大きな音を出す場合があります。
「机上には必要なものだけ」というようなルール作りも有効です。

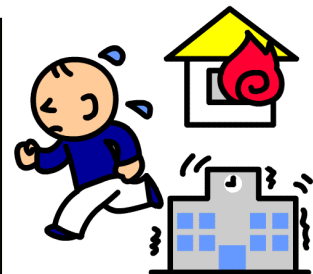


3 突然の音への配慮をする <③-1>

- 避難訓練など、校内放送がある場合には事前に本人に伝えておきます。また、必要のない校内放送は極力なくす等の共通理解をすることも大切です。



大きな音が出るのがわかっている場合には、事前に本人と対処法を考えます。
耳栓やイヤーマフ等の使用も、本人から要望があれば認めるようにします。



4 クールダウンができる場を提供する <③-2>

- 学校生活では、授業中以外にも様々な音が出ます。休憩時間でも音がある環境ではストレスを感じるようになります。ストレスを感じにくい場の提供を行うことが必要です。



本人が疲れを感じたら休憩できる場所を提供します。休憩を取ることによって、次への意欲につながるがあります。
休憩は「わがまま」や「なまけ」ではなく、自己理解が進んでいると評価するようにします。



22 集団に参加しにくいVさん

Vさんは、周りとのトラブルが多く、集団行動が苦手なため、集会などでは列に入れないことがあります。座学の授業では落ち着いて座っていますが、絵を描いて過ごしていることも多く見られます。通常とは違う状況になると動けなくなったり、苦手な授業では勝手な行動とってしまったりすることもあります。どう配慮していけば良いでしょうか。

どうしてそうなるの？(考えられること)

- ◎状況の変化や活動に対して見通しがもてず、不安を感じてしまうため
- ◎注意を受けることが多く、活動意欲につながらないため
- ◎経験せずに苦手なものが増えてしまい、自己肯定感が高まりにくい状況にあるため

合理的配慮・具体的な支援(例)

1 活動の見通しをもたせる <①-2-1><①-2-3>

- 連絡事項を記入する場所を決めることで、自分で確認し、見通しをもてるようにする。
- 初めて行う活動については、連絡事項の記入だけでなく視覚的な支援を行いながら口頭で説明する。

	月	日	()
1			
2			
3			
4			
5			

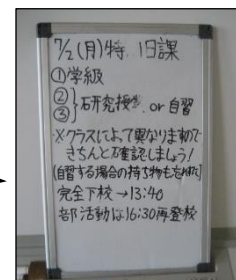


見通しをもって過ごすために連絡事項を記入したスケジュールボードは有効です。

本人がスケジュールボードの内容を正確に理解していることも大切です。特に初めて行う活動などは注意をします。

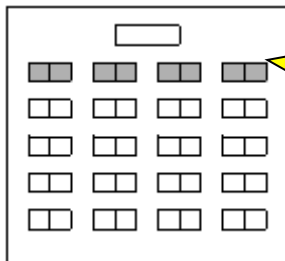
スケジュールの確認のためにミニホワイトボードを活用することも有効です。

視覚と聴覚の両方から同時に情報を得られるようにします。

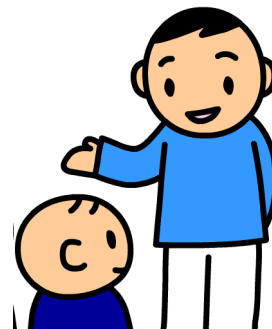


2 困っている状況を伝えやすい座席の配置 <①-2-1>

○教師（教科担当も含む）が、生徒の状況を把握しやすく、声をかけやすい座席にすることで、スムーズに活動できるようにする。



状況把握がしやすい座席にすることで、適切なタイミングで言葉をかけることができます。
また、適切な言葉かけで課題に対してのスタートが周りと同じになります。



3 目標の内容を調整する <①-1-2><①-2-2>

○「これなら取り組める」という目標を確認し、成功体験を重ねていくことで、自己肯定感を高める。

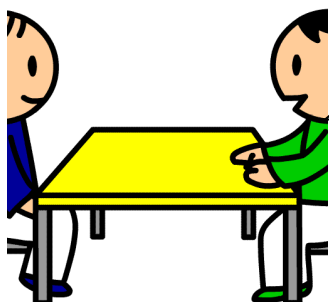


どの活動を、どの程度行うのか、本人と確認することで無理なく取り組めるようにします。
また、集団での活動を行っていくことで、周りの仲間の理解へとつなげることもなります。



4 話を聞く時間を設ける <①-1-1><①-2-3>

○本人の考えや気持ちを伝える機会（場所と時間）を設けることで、本人が考えや気持ちを伝える経験を積む。



放課後等に話を聞く時間を設けることで、自分自身の振り返りができるようになりました。
生徒が困っている状況を確認するだけでなく、トラブル回避の対処法を一緒に考える時間としても活用しました。

